

濃尾平野の基盤構造アナログ模型 Analog model of basement structure below the Nobi Plain

高橋 雅紀^{1*}; 堀川 晴央¹
TAKAHASHI, Masaki^{1*}; HORIKAWA, Haruo¹

¹ 産業技術総合研究所

¹National Institute of Advanced Industrial Science and Technology

濃尾平野の地震防災とその普及活動を目的に、堀川ほか(2008)および藤原ほか(2005)の基盤深度コンターに基づいて、濃尾平野の基盤構造のアナログ模型を製作した。模型の製作は、まず厚さ5mmのスチロール板に深さ250mごとのコンター線を写し取り、スチロールカッターでくり抜いた後に重ねて貼り付け、段差をカッターで取り除いたあと紙ヤスリで整形した。つづいて、500mごとにアクリル絵の具で塗色し、地表面(海拔0m)は20万分の1の地質図を貼り付けた。さらに、海岸線や河川、活断層や主要な地名等を裏側に描いたアクリル透明板を重ねた。模型は、深さ方向が4倍に強調されている。模型を見ると、養老断層による埋没した急崖や、非対称な基盤の凹みが明瞭である。また、活断層と深部基盤構造を比較すると、基盤にみられる段差と活断層が関連していることが示唆される。これら堆積平野下の深い基盤構造によって、長周期地震動が局所的に増幅されると考えられる。

キーワード: アウトリーチ, 地球科学, 地質学, 普及教育

Keywords: outreach, earth science, geology, educational promotion